

2019年10月23日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋一丁目9番1号
会 社 名 ソフトバンクグループ株式会社
(コード番号 9984 東証第一部)
代 表 者 代表取締役会長 兼 社長 孫 正義

WeWorkによる当社からの大規模資金調達に関するお知らせ

当社とコワーキングスペースサービス「WeWork」を手がける The We Company（以下「WeWork」）は、本日、当社が WeWork に対し大規模な資金コミットメントを行うことについて合意した旨のプレスリリースを公表しましたので、添付のとおりお知らせいたします。

当社の連結財務諸表に与える影響

WeWork に対しては、当社 100%子会社およびソフトバンク・ビジョン・ファンドから出資しています。当社 100%子会社からの出資分については、保有する株式の性質に応じて、持分法で会計処理、または純損益を通じて公正価値で測定する方法で会計処理を行い、それぞれ「持分法による投資損益」、「FVTPL の金融商品から生じる損益」に計上します。一方、ソフトバンク・ビジョン・ファンドからの出資分については、これまで通り WeWork 株式を公正価値で測定し、その公正価値の変動を「ソフトバンク・ビジョン・ファンドおよびデルタ・ファンドからの営業利益」に計上します。

本件による具体的な影響額については、必要に応じて開示を行います。

以 上

*****本件に関する報道関係のお問い合わせ先*****

ソフトバンクグループ株式会社 広報室 03-6889-2300

WeWork、ソフトバンクグループから大規模資金調達

デットとエクイティを含むファイナンスパッケージで、事業計画に十分な資金を調達し、収益性向上とフリーキャッシュフロー創出を目指す

WeWork 取締役会がマルセロ・クラウレを同社 *Executive Chairman* に選任へ

The We Company（以下「WeWork」、ウィーワーク）とソフトバンクグループ（以下「SBG」）は本日、SBG が WeWork に対し大規模な資金コミットメントを行うことについて合意しましたのでお知らせいたします。これには、約 50 億ドル（約 5,426 億円）の新規資金調達と、WeWork の既存株主を対象とした SBG による最大 30 億ドル（約 3,255 億円）の株式公開買付けの開始が含まれます。また、SBG は既存の 15 億ドル（約 1,627 億円）の資金コミットメントの早期実行を行います。今回の資金調達は、収益性向上とフリーキャッシュフロー創出を加速させる WeWork の事業計画を実行するために必要な流動性を同社に提供するものです。

本取引完了および株式公開買付け後、SBG の WeWork 株式に対する経済的持分比率（完全希薄化後）は最大 80%となる予定ですが、SBG は WeWork のいずれの株主総会および取締役会においても議決権の過半数を保有せず同社を支配しないため、同社は SBG の子会社とはなりません。WeWork は SBG の関連会社となる予定です。

ソフトバンクグループ株式会社 代表取締役会長 兼 社長の孫 正義は次のように述べています。「ソフトバンクグループは、世界中で人々の働き方に変革が起こっていると確信しています。WeWork はこの変革の最前線にいます。WeWork が直面したように、世界をリードするテクノロジーの革新者が成長の過程で困難を経験することは珍しいことではありません。同社に対するわれわれの確信は変わらず、大規模な資本注入とオペレーションのサポートを提供することにより、WeWork へのコミットを強化することにしました。WeWork、同社の従業員、メンバー、ビルオーナーに引き続きコミットしていきます」

本合意に関連して、WeWork の取締役会は、SBG による既存の 15 億ドルの資金コミットメントの早期実行の完了をもって、SBG の COO であるマルセロ・クラウレを取締役会の *Executive Chairman* に選任する予定です。WeWork の創業者であるアダム・ニューマンは、同社取締役会の *Observer* に就任します。取締役会は構成員が増えるとともに、原則としてニューマンが保有する議決権は取締役会に委ねられます。

マルセロ・クラウレは次のように述べています。

「WeWork は、デザイン、テクノロジー、コミュニティーの融合を通して、有意義な体験を創出することで、働き方の本質を再定義しています。ソフトバンクグループが提供する新しい資本は、WeWork の勢いを取り戻します。私は同社の収益性向上とフリーキャッシュフロー創出に全力で取り組みます。財務上の意味合いと同様に重要なのが、この投資は、柔軟かつコラボレーションが可能で生産性向上につながる職場環境を提供することで、不動産業界の革新をリ

ードしていく WeWork の推進力をわれわれが確信しているということです。WeWork が世界中の従業員、メンバー、ビルオーナーそしてコミュニティーのために、そのビジョンを実現していく手助けをしていくことを楽しみにしています」

今回のファイナンスパッケージは以下を含みます。

・既存資金コミットメントの実行：SBG が 2020 年 4 月に実行を予定していた 15 億ドル分の資金コミットメントについて、1 株あたり 11.60 ドルで早期実行します。WeWork 株主の承認を前提に、本合意後 7 日で実行見込みです。

・公開買付け：SBG 以外の全株主を対象に、1 株あたり 19.19 ドルで最大 30 億ドル相当の公開買付けを実施します。2019 年第 4 四半期（2019 年 12 月末に終了する 3 カ月間）中に実施見込みですが、完了には規制当局の承認やその他の前提条件の充足を要します。

・新規負債：担保付シニア債券 11 億ドル（約 1,193 億円）、無担保債券 22 億ドル（約 2,387 億円）、レターオブクレジットファシリティ 17 億 5 千万ドル（約 1,899 億円）から成ります。公開買付け完了後に実施見込みです。

・合弁会社株式交換：日本以外の地域の WeWork の合弁会社においてソフトバンク・ビジョン・ファンドが保有する全株式を、1 株あたり 11.60 ドルで WeWork 株式に交換します。

WeWork の共同 CEO であるアーティ・ミンソンとセバスチャン・ガニングハムは次のように述べています。

「このたび調達した資金は、メンバーやビルオーナーにとって最適なパートナーになるというわれわれの目標を実現するのに十分な財源となると同時に、株主や従業員に成長と資本リターンをもたらす基盤となります。われわれのグローバルブランドや類いまれなプロダクトを犠牲にすることなく、資産の最適化や事業の安定化に取り組み続けるために必要な柔軟性が得られることとなります。中核事業になる WeWork のワークスペース事業に戦略を集中させることにより、メンバーに対してすばらしい 1 日を毎日届け続けられることでしょう。世界中の経験豊かな従業員の厚みが、われわれが今後市場をリードする力になってくれます」

Rudin Management Company, Inc. の CEO & Co-Chairman であり、WeWork が初めて初期から開発に関わった Dock 72 の共同デベロッパーであるウィリアム・ルーディンは次のように述べています。

「ソフトバンクグループによる WeWork へのこのたびの戦略的投資は、同社のパートナーと従業員の強い自信となり、将来の成長と成功につながるでしょう」

アドバイザー

SBG のリード財務アドバイザーを The Raine Group LLC が、法律顧問を Gotshal & Manges LLP と Morrison Foerster LLP が務めました。ソフトバンク・ビジョン・ファンドの財務アドバイザーを Lazard Ltd. ならびに Houlihan Lokey, Inc. が、法律顧問を Weil, Gotshal & Manges LLP が務めました。WeWork の法律顧問を Skadden, Arps, Slate, Meagher & Flom LLP が務めました。WeWork 取締役会 Special Committee の財務アドバイザーを Perella Weinberg Partners LP が、Wilson Sonsini Goodrich & Rosati が法律顧問を務めました。ニューマンの法律顧問を Paul, Weiss, Rifkind, Wharton & Garrison LLP が務めました。

WeWork について

WeWork は世界中のメンバーにワークスペース、コミュニティ、サービスを世界各地のロケーションとオンラインの両面で提供し、ただ生きるのではなく、生きがいを感じる世界をつくることをミッションとしています。WeWork は、2019 年第 2 四半期時点で世界 29 カ国 111 都市の 528 カ所で展開しています。52 万 7,000 の多様な業界のグローバル企業会員のうち、38%がフォーチュン・グローバル 500 企業です。WeWork は、より良いオフィス環境を世界中のメンバーに提供していきます。